

科目名	法律入門 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Introduction to Law	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	くにいのりお	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	國井法夫	修得単位	2単位
授業のテーマ	法律学を学ぶ前提としての「法と人間とのかかわりあい」について話す		
到達目標	経済学徒に「法的なものの考え方」とは何かを知ってもらう。		
授業概要	人々は日々の生活の中で意識するかしないかは別として法律の枠の中で生活をしている。この授業では経済を学ぶものを対象として我々の日常生活における法とのかかわり、法とともにいかに生きるべきかについて考えていく。		
授業計画			
第1回	法とは何か	①我々が法と出あうとき ②自分の常識と世間の常識	
第2回	法とは何か	③法律に出あわないためには法律を知る必要がある	
第3回	我々の日常生活と法	①弱肉強食という秩序 ②人間を平等にするための機構	
第4回	我々の日常生活と法	③力の支配する秩序から契約の支配する秩序へ ④契約とは	
第5回	我々の日常生活と法	⑤神と人間との契約 ⑥契約は二人だけの法律を作る	
第6回	法と国家	①法は国家権力の行使に対する枠 ②独立戦争と大革命	
第7回	法と国家	③裁判を受けるのは国民の権利 ④法律を知ることは法律から自由になること	
第8回	法と国家	⑤法律と大学の学則の違いは ⑥法律は国家を拘束する ⑦法の第一次的な機能は	
第9回	再び法とは何か	①法律の概念規定 ②法律を作り出すこと ③立憲主義	
第10回	再び法とは何か	④法律の持つ強制力 ⑤法律の意義 ⑥法と法律	
第11回	法の本質	①我々はなぜ法を守るのか ②法の本質についての考え方 ③法の超人性	
第12回	法の本質	④人間社会の自然的法則 ⑤神意説と自然法説の合体 ⑥法の三段階構造	
第13回	法の本質	⑦法思想におけるヒューマニズム ⑧人間のエゴと国家 ⑨信託国家	
第14回	法の本質	⑩ヨーロッパ大陸の状況 ⑪カント ⑫歴史法説 ⑬功利主義法学派	
第15回	法の本質	⑭自由法学派 ⑮新カント派	
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	復習をお願いします。		
履修条件・受講のルール	欠席しない。		
テキスト	プリント		
参考文献・資料			
成績評価の方法	試験の得点 (60%)・レポート提出 (10%)・出欠・学習態度 (30%) 等で総合評価します。出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	金曜日 4 時間目		
成績評価基準	平成28年度 (2016) 以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度 (2015) 以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		

学生へのメッセージ

欠席せずに努力する人を歓迎します。